

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 7-1

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	子育て支援拠点事業					
評価者	担当課名	児童センター		担当係名	児童センター係	
	管理職	職名	館長	作成者	職名	主査
		氏名	牧野京子		氏名	斉藤智美
事業の概要	地域全体で子育てを支援する基盤を形成し、育児の悩みを抱える母親への相談指導やサークルへの支援、遊びを通して親子の楽しい交流の場など地域の子育て支援を進める。				全体計画 (平成 20 年度～ 24 年度)	
					国・道支出金	18,270 千円
					地方債	千円
					その他	105 千円
					一般財源	千円
					事業費計	18,375 千円
実施方法	■ 直営	民間委託	その他 ()			
第 5 期 総合計画 (前期)	■ 登載事業	非登載事業	優先度	A		
事業の位置付け	政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～				
	基本施策	8 子育て・子育ての充実				
	単 位 施 策	2 「子育て」支援の強化				
	事務事業の種類	■ 自治事務	法定受託事務			
	その他計画・根拠等	次世代育成支援行動計画				
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	3,681 千円	3,660 千円	3,654 千円	3,654 千円	3,654 千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	15 千円	15 千円	21 千円	21 千円	21 千円
	雄武町負担額 (一般財源)	0 千円	千円	千円	千円	千円
	合 計	3696 千円	3675 千円	3675 千円	3675 千円	3675 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	子育て家庭	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	子育てに不安やとまどいを感じる母親が増加している。	利用者数、あそびの広場開設数		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	地域全体で子育てを支援する地盤を形成し、育児支援を図る。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
		① 年間利用者数	目標年度	20年度
			目標値	4,800 人
			実績値	4,896 人
達成度	102.0 %			
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	育児の喜びや楽しさを知り、安心して子育てができる。	② あそびの広場開設数	目標年度	20年度
			目標値	90 回
			実績値	97 回
		達成度	107.77778 %	
内 容(どのような手段で何を行ったか)				
①あそびの広場	仲良し親子教室を実施して年齢に応じた遊びの指導や仲間づくりの提供を行った。			
②ほかほか広場	学校の夏休み、冬休み期間中にほかほか広場を実施し、小・中学生との交流の機会をもった。			
③特別保育事業等の積極的実施・普及促進の努	関係機関との事業協力体制を図り、遊びの紹介等を行った。			

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	少子化が進む中、安心して子どもを産み、育てることができるための子育て支援が必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	子育て支援センターを利用する親子が増え、子育ての情報交換や仲間づくりの貴重な場となっている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	児童センターで実施することにより、備品等の共用により節約できる。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	町内全ての乳幼児・保護者の利用可能。町広報等に子育て支援センター情報を掲載。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A 年々、子育てに悩みストレスを抱える母親が増加している。情報交換、仲間づくりの場を提供する等、支援が必要なことから、今後も計画通り進めることが適当と判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続／現状維持 子育て親子の交流等を促進し、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進する。		
---	--	--

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 7-2

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		放課後子どもプラン推進事業																
評価者	担当課名	児童センター		担当係名	児童センター係													
	管理職	職名	館長		作成者	職名	主査											
		氏名	牧野京子			氏名	斉藤智美											
事業の概要	保護者が就労等により、昼間留守家庭となる主に小学校低学年を対象に、放課後の家庭に代わる生活の場・遊びの場を提供し健全育成を図る。					<table border="1"> <tr> <td>全体計画</td> <td>(平成 20 年度～ 24 年度)</td> </tr> <tr> <td>国・道支出金</td> <td>9,660 千円</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>6,440 千円</td> </tr> <tr> <td>事業費計</td> <td>16,100 千円</td> </tr> </table>	全体計画	(平成 20 年度～ 24 年度)	国・道支出金	9,660 千円	地方債	千円	その他	千円	一般財源	6,440 千円	事業費計	16,100 千円
全体計画	(平成 20 年度～ 24 年度)																	
国・道支出金	9,660 千円																	
地方債	千円																	
その他	千円																	
一般財源	6,440 千円																	
事業費計	16,100 千円																	
実施方法	■ 直営	民間委託	その他 ()															
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業	非登載事業	優先度	A													
事業の位置付け	政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～																
	基本施策	8 子育て・子育ての充実																
	単位施策	1 「子育て」支援の強化																
	事務事業の種類	■ 自治事務	法定受託事務															
	その他計画・根拠等	次世代育成支援行動計画																
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)												
	国・道支出金	2,146 千円	2,038 千円	2,038 千円	2,038 千円	2,038 千円												
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円												
	その他財源	15 千円	千円	千円	千円	千円												
	雄武町負担額 (一般財源)	1,037 千円	1,182 千円	1,182 千円	1,182 千円	1,182 千円												
	合計	3198 千円	3220 千円	3220 千円	3220 千円	3220 千円												

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	保護者が労働等により、昼間留守家庭となる児童(小学生)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)					
【抱える課題やニーズは】	留守家庭児童の安全な居場所づくり	開設日数、利用者数					
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	児童の学校終了後の安全確保と異年齢との関わりを通して自主性・社会性を養う。	① 児童クラブ年間開設日数	指標(指標計算式/解説)			目標値及び実績値	
			目標年度	20年度			
			目標値	306 日			
			実績値	307 日			
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	児童の健全育成と保護者が安心して就労できる環境づくり。	② 児童クラブ年間利用者数	指標(指標計算式/解説)			目標値及び実績値	
			目標年度	20年度			
			目標値	9,000 人			
			実績値	11,487 人			
達成度 127.63333 %							
内 容(どのような手段で何を行ったか)							
①開設日・時間	○ 開設日 月曜日～金曜日、休校日(土曜日・祝日・学校が特別に休みとした日) ○ 時間 平日 授業終了後～17:30 休校日 8:00～17:30 お弁当対応						
②安全確保	送迎・出欠確認等について保護者並びに小学校との連絡徹底を図る。						
③異年齢交流	児童クラブでの生活や遊びを通して異年齢との交流を深める。						

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	子どもたちの安全対策が心配される中、保護者が安心して就労でき、児童の安全確保と健全育成を図るために必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	保護者が安心して就労ができ、子どもの安全対策が図れる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	児童センターで実施することにより、無駄なく事業実施が可能である。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

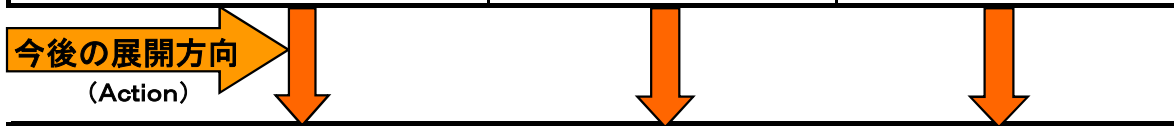
(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	年間を通して町内全ての児童が利用可能である。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A 共働き家庭増加に伴い、保護者が安心して就労ができ、児童の安全な居場所づくりを図る上でも計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		



継続／現状維持 少子化対策の一環として、今後もますます必要とされる事業である。関係機関と連携し、内容の充実を図り、安心できる居場所づくりに努める。		
--	--	--

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 7-3

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	児童ふれあい交流促進事業					
評価者	担当課名	児童センター	担当係名	児童センター係		
	管理職	職名 氏名	館長 牧野京子	作成者	職名 氏名	
事業の概要	年長児の乳幼児とのふれあい体験、親子での絵本読み聞かせ体験、地域への遊びの提供、行事体験など、交流する機会を通じ、地域全体で子どもの健全な育成や子育て支援の環境づくりを行うことを目的とする。				全体計画 (平成 20 年度～ 24 年度) 国・道支出金 2,000 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 4,000 千円 事業費計 6,000 千円	
	実施方法	■ 直営		民間委託	その他 ()	
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業	非登載事業	優先度	A	
事業の位置付け	政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～				
	基本施策	8 子育て・子育ての充実				
	単位施策	1 「子育て」支援の強化				
	事務事業の種類	■ 自治事務	法定受託事務			
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	400 千円	400 千円	400 千円	400 千円	400 千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	707 千円	800 千円	800 千円	800 千円	800 千円
	合計	1107 千円	1200 千円	1200 千円	1200 千円	1200 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	すべての児童、子育て中の親子	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	安心して遊べる場所の必要性	事業数、参加者数			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	児童センターにおいて、健全な遊びを提供し、異年齢との交流を通して、社会性、自主性、創造性を養う。	① 事業数	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
			目標年度	20年度	
		目標値	100 回		
		実績値	98 回		
達成度	98.0 %				
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	児童の魅力ある居場所となり健全育成が図られる。	② 参加者数	目標年度	20年度	
			目標値	2,000 人	
		実績値	2,094 人		
		達成度	104.7 %		
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
①行事体験活動	多種多様な行事を通して、幅広い世代交流を深め、体験活動を行った。				
②体力増進活動	数多くのスポーツ指導を行い、体力増進を図る。				
③児童ふれあい交流促進事業	地域への遊びの出前、赤ちゃんふれあい体験などを実施し、子どもたちの体験活動の幅を広げる。				

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	子どもたちを取り巻く環境が変化する中、遊びの拠点となる地域の安全な居場所が必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	センター利用者や事業への参加者が増えており、安全な居場所として有効であると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	他団体と協賛で事業を行うことで様々な遊びや支援を提供でき、効率的である。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	町内全ての乳幼児・児童・中高生の利用可能。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
地域の子ども達の遊びの拠点として重要な役割を果たしている。貴重な異年齢の交流の場として事業を継続する。		

今後の展開方向

(Action)

継続／現状維持		
子どもたちが意欲的にあそび、仲間づくりを通して学び高め合う居場所づくりを促進し、児童の健全育成を図る。		

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--